

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	起業家支援事業			事業コード	3050
所属コード	131500	課等名	企業立地雇用課	係名	
課長名	菊池 伸輔	担当者名	藤原 禎久	内線番号	3773
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要 (旧総合計画体系における位置づけ)

総合計画 体系 (旧)	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	まちに活力を与える工業の振興	コード	2
	基本事業	起業家の支援	コード	3
予算費目名 (H26)	一般会計 7 款 1 項 2 目 起業家支援事業 (006-10)			
特記事項 (H26)				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 14 年度	
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

盛岡市、滝沢市、矢巾町が連携して創業者等に対する支援を行うことにより、盛岡地域の産業活動の振興を図る。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

ソフトウェア産業等の都市型産業が集積している地域の特色を活かし、新たに創業しようとする者及び創業後間もない者を対象とした支援や、創業者と地場企業との人的ネットワークを構築することにより地域の産業活動の振興を図るため実施されるもの。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

東日本大震災後は一時的に景況が悪化したものの、復興需要などを背景として震災前を超える経済の回復が見られ、新規創業の講座も定員を充足する申込みがあることから、今後も新規創業者等への支援は必要なものと思われる。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が、何が対象か)

盛岡地域において新たに創業しようとする者及び創業後間もない者、既存の中小企業者

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 見込み	26年度 実績
A 起業家セミナー受講者数	人	113	200	83	100	103
B						
C						

(3) 26年度に実施した主な活動・手順

- ・盛岡市，滝沢市，矢巾町の3市町合同で起業家等への支援事業を実施した。
- ・（起業家セミナー）セミナーを開催し，創業者の情報交換の場を設けた。
- ・（起業家塾@もりおか）創業しようとする者に対し，事業立ち上げの手順や事業成功のノウハウ等について講義を行った。
- ・（新規創業者経営相談事業）新規創業者の経営面の問題解決を図るためベンチャーメンターを紹介し，助言・指導を行った。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 起業家塾@もりおか開催回数	回	12	12	6	12	12
B 起業家塾@もりおか受講者人数	人	34	26	16	32	25
C 新規創業者経営相談事業利用回数	回	1	1	0	4	0

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

対象者の事業展開円滑化と，対象者の事業が抱える問題を解決する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 新規創業者の数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	7	7	0	10	4
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	160	160	160	160	160
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	160	160	160	160	160
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	100	100	60	100	100
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	400	400	240	400	400
計	トータルコスト A+B	千円	560	560	400	560	560
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

新規創業は当市における活力ある産業活動に結びつくため、整合性はとれている。

② 市の関与の妥当性

活力ある産業活動及び雇用創出のため、市は創業者や既存中小企業者を支援する必要があるため、妥当である。

③ 対象の妥当性

創業者や既存中小企業者は支援を必要とする度合いが高く、対象として妥当である。

④ 廃止・休止の影響

市以外の他の産業支援機関等においても同様の取組が行われているものの、本事業の廃止は、蓄積してきた技術やノウハウを活かして新分野に進出しようとする既存中小企業や、創業を志す者から、事業プランの構築手法習得や人脈開拓の機会を奪うことになり、盛岡地域の産業発展に一定の影響がある。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

現在はそれぞれに行われている地域創業者等に対する各関係機関の起業・創業支援施策をワンストップで情報提供するなど、横の連携を強化した起業しやすい環境づくりを進める必要が

ある。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

本事務事業は，創業者や既存中小企業者等に対し，業種や年齢等を問わず行っており，受益機会は公平である。

(4) 効率性評価

最低限の事業費で効率的な事業運営に努めており，業務時間の削減は，意図の限定や成果の低下に結びつくことから，削減できない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	工業の振興	コード	23
	小施策（推進項目）	創業・起業の支援	コード	23-4

(2) 改革改善の方向性

起業しやすいまちもりおかの実現のため，策定をおこなった創業支援事業計画に基づき，市が周辺市町や民間事業者等と連携し，ワンストップサービスの実現やマッチング支援，専門家によるハンズオン支援などの取組を通じて創業支援体制を強化する。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

創業支援事業計画の参画団体・組織と連携し，支援メニューの充実のための協議を進めていく。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

平成 27 年 5 月に経済産業省の認定を受けた「創業支援事業計画」に則り，産学官金連携を推進し，起業支援策を講ずる。

盛岡企業ファンドへの出資自治体（盛岡市，滝沢市，紫波町，矢巾町）が一体となり起業支

援を行うため、既存の地域人材育成ネットワーク事業実行委員会に紫波町にも参画を働きかけ、広域での起業支援を行う。